

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6		国で定められた基準以上のスペースがあります。また、療育と余暇活動の部屋を分けており、学習や集団活動にも落ち着いて取り組めるように配慮しています。	
	2	6		国で定められた以上の人員配置で対応しており、全職員が有資格者です。	
	3	1	5	室内は児童にとって分かりやすい構造となっています。しかし玄関等に段差があるので、児童が移動する際には、職員が一緒に付いて行動し、安全に配慮しています。	当事業所は戸建てであり、バリアフリーは難しいですが、今後も適切な人員を配置し、支援が必要な児童に合わせて職員が安全に配慮しながら支援を行ってまいります。
業務改善	4	6		業務が効率よく進むように職員同士で考えて意見を出し合い業務改善に努めています。	
	5	6		毎年アンケートを配布し、ご意見やご意向を把握することにより、改善につなげています。	
	6	6		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	6		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	6		年間予定を立て、事業所内の職員研修は定期的に行っています。	
適切な支援の提供	9	6		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しを行っています。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	10	6		社内共通様式で標準化されたアセスメントシートを使用しています。	
	11	6		有資格者がそれぞれの立場から意見を出し合い、児童の年齢や特性に合わせたプログラムをチームで立案しています。	
	12	6		全職員で意見を出し合いながら季節感が感じられるような製作活動やイベントを取り入れて固定化しないように工夫しています。	
	13	6		平日は学習面を中心に支援しています。土曜日・長期休暇は集団で楽しめる活動、季節のイベントなどを取り入れています。	
	14	6		一人ひとりの特性に応じ、個別・集団での活動を組み合わせ、保護者のニーズに応じて計画を作成しています。	
	15	6		朝礼・昼礼時に、支援内容、役割分担の確認など、職員間で話し合い、情報共有を行っています。	
	16	6		支援終了後は送迎などで難しい面もあり、当日の支援の振り返りや気づいた点は翌朝の朝礼時に全職員で共有しています。	
	17	6		記録には支援内容だけでなく、その日の体調や様子、気づいた点や気になることなどを合わせて記入しています。また、職員間で情報共有し、支援の改善や検証に取り組んでいます。	
	18	6		定期的にモニタリングを行い、現状を把握して、見直しの必要性を判断しています。	
関係機関や保護者様との連携	19	6		児童一人ひとりの状況やニーズ、保護者様のご意向を踏まえて、ガイドラインから必要な項目を選択し、児童に適した具体的な支援計画を作成しています。	
	20	6		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	21	6		必要な情報を共有できる連携体制を整え、児童の変化や学校の下校時間の予定、送迎時間の変更など共有確認しています。	
	22	6		現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	6		担当者会議を通して支援内容などの情報共有と相互理解を図り、支援が統一されるように努めています。	
	24	6		現在まで該当する児童がいないため、情報提供には至っておりません。	今後、該当する児童がでてきた場合は連携をはかっていきます。
	25	6		専門機関との連携に努め、情報交換、助言を受け、他事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	
	26	6		近隣の同一事業所と、イベントを開き、交流の場を設けています。	感染症などの影響を考慮しつつ、保護者様のご意向を伺いながら、交流の機会については検討してまいります。
	27	6		今年度より地域の自立支援協議会の児童部会が立ち上げとなり準備会から参加しております。	
	28	6		連絡帳や送迎時、家庭連携などで保護者様との情報交換をおこない、児童の現状や課題について共通理解を深めています。	
保護者様への説明責任等	29	6		送迎や家庭連携などの機会に保護者様のお悩みや困りごとをお聞きし、必要な支援方法をその都度お伝えするように努めています。また、療育上ご家庭の協力が必要な場合はご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	
	30	6		契約時は丁寧な説明を心がけ、質問や不明な点がないか確認しながら進めています。	
	31	6		家庭連携や送迎時などでご相談を受けた際には保護者様のお気持ちに寄り添いながら、必要な助言をおこない、支援につなげています。	
	32	6		保護者会を実施できておりません。	配信サービスを活用して、全国の COMPASS の保護者様の声を共有できるように努めます。
	33	6		相談や申し入れがあった場合はすぐに職員間で話し合い、迅速に対応しています。また、苦情へのご相談窓口も設けており、契約時にご説明しております。	
	34	6		公式 Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしています。また年 4 回「COMPASS だより」を季刊発行しています。連絡帳で行事予定やお知らせ、毎月の様子を写真とともにわかりやすく事業所便りとして掲載、配布しております。	
	35	6		個人情報の記載のある重要書類は、施錠ができる書庫にて保管し、廃棄の際にはシュレッダーにかけるなど細心の注意を払っております。	
	36	6		児童一人ひとりに合わせた情報伝達ツールを用い、分かりやすく情報を伝達できるようにしております。	
	37	6		本年度もコロナ禍のため、地域住民をご招待する機会を持つことができませんでした。	現在は、感染症リスク、プライバシー保護の観点からも保護者様全員の理解や説明が難しい部分もあるため、慎重に検討してまいります。
	非常時等の対応	38	6		事業所内にマニュアルや対策を提示し保護者にもお伝えしています。また、年間計画を立て訓練を行っています。
39		6		年度初めに年間計画を立て、地震・火災・風水害・不審者への対応などの避難訓練を定期的実施しています。	
40		6		事業所に虐待防止責任者を選定しています。また、定期的に職員研修を実施し、虐待防止への理解、意識向上に努めております。	
41		6		利用契約書に原則として身体拘束の禁止が記載されています。現時点では該当者はいませんが、生命または身体を保護するためにやむを得ず必要となる場合については保護者様の同意を得て支援計画に記載するようにしております。	
42		6		食物アレルギーがある児童については保護者様と情報共有をおこない、名児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。	
43		6		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有しています。ファイルで保管して、事例は振り返り、再発防止に努めています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。